

エンジョイ雪遊びキャンプ

- 開催日 2018年1月5日～1月7日
- 会場 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）
- ディレクター名 舘野 彩子（まるこ）

■キャンプのねらい

- 雪遊びを通して、自然遊びの楽しさを知る
- 仲間と遊ぶ楽しさや協力心を学ぶ

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ひめちゃん、イアーゴ、ほかり、みもー、みかん、みり、けんさん、アンドリュー、ゆきち

■活動内容

<1日目>
集合、自然の家到着
雪遊び①
夜のお楽しみ活動

<2日目>
朝のつどい
雪遊び② ソリアそび
雪遊び③ かまくらづくり
夜の探検

<3日目>
雪遊び④
移動、解散



バスを降りたら、あたり一面銀世界！



ふかふかの雪にさっそくキャンプカウンセラーを埋めちゃいました。



キャンプカウンセラーにスキーウェア着せ選手権です。



朝ご飯を食べて、雪遊びに向けてエネルギーチャージ！



ソリはスピードが出たら、バランスを保つのが大変！



2人で乗るとスピード倍増！
たくさん滑りました！



「がんばれ！」
「一緒に持って上がろう！」



もちろん、ふわふわの雪で雪遊びも行いました。



雪像づくりに挑戦しました。
雪を集めるためにソリを使います。



スコップも上手に使って大きな雪の塊をゲットしました。



雪玉製造機を使うと、らくらくです。



完成！なんと、2人も入れるかまくらが出来上がりました！！



これから、夜の探検に出発！ドキドキ、わくわく



かまくらに雪が降り積もり、きれいな雪化粧が施されていました。



僕たちの作った戦艦型かまくらには、乗ることだってできるんだよ。



朝まで降り積もった雪はふかふかでした！



VSキャンプカウンセラーの雪合戦は大盛り上がり！



雪遊び楽しかったぞ！おー！

■キャンプのエピソード

みんなでソリ遊び！滑った後は…

「3・2・1」のカウントに合わせてソリが出発！すると、あまりの速さに驚きが隠せない子どもたちは、「ジェットコースターみたい！」「もっともっと！」と、大興奮です！

しかし、滑った後は、ソリを持ってソリゲレンデを上らなくてはなりません。ゲレンデの下からてっぺんを見上げ、固まる子どもたち。この大変な作業、中には途中まで上って、あまりのソリの重さに手を離してしまう子も…

そんな中、現れた救世主は、班の仲間たち！「ぼくが押してあげるよ。」「一緒に運ぼう！」一人が引っ張りみんなで押す。次第にソリゲレンデも笑顔で楽々上っていきました。一人では大変なことも、みんなとならなくていいことない！

「次は一緒に2人乗りしようよ。」と、仲が深まり、ソリ遊びの楽しさが倍増した時間でした。

ぼくらのかまくらは、戦艦型！

かまくらを作ることを知ったある班は、お昼ご飯を食べながら、さっそく作戦会議を始めました。「ねえねえ、かっこいいかまくらがいいよね。」と、かまくらづくりへのワクワクが止まらない子どもたち。

作りはじめると、「僕らは戦艦型かまくらを作るんだ！」と意気込み十分です！

理想の大きな戦艦にするためにはたくさんの雪が必要です。スコップで掘ったり、ふわふわの雪を集めたり、子どもたちはひたすら作り続けます。

それを見たキャンプカウンセラーが、「ちょっと休憩してチョコでも食べる？」と聞くと「今は作りたい！だって頑張った後にご褒美が欲しいから！」と必死です。

そして見事に完成すると「僕たちのかまくらには乗れるんだよ。ほら！」と自信たっぷりに紹介してくれた子どもたちがいました。